



概要

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco UCS Director およびシスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ, 1 ページ](#)
- [Cisco Application Policy Infrastructure Controller, 2 ページ](#)

Cisco UCS Director およびシスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ

Cisco UCS Director は、コンピューティング、ネットワーク、ストレージ、および仮想化の各階層に対し単一のインターフェイスから管理できる統合インフラストラクチャ管理ソリューションです。Cisco UCS Director では、コンピューティング、ネットワーク、ストレージ、および仮想化の各階層をサポートするワークフロー タスクで、ワークフロー オーケストレーション エンジンを使用します。Cisco UCS Director はマルチテナント機能をサポートするため、インフラストラクチャをポリシー ベースで共有することができます。

Cisco UCS Director は、異なるコンテナ階層の間でのコントラクトを定義する機能もサポートするため、階層間にルールを適用することもできます。

シスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ (ACI) では、アプリケーションの要件によってネットワークを定義できます。このアーキテクチャは、アプリケーションの導入サイクル全体を簡素化、最適化、加速化します。

Cisco UCS Director と Cisco ACI を組み合わせることにより、アプリケーション セントリック インフラストラクチャのプロビジョニングおよび提供を自動化できます。



- (注) ACI 1.1(1*)を使用するには、TLSv1 が Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) で有効になっていることを確認します。APIC で、[ファブリック (Fabric)] > [ファブリック リソース (Fabric Resources)] > [Pod Polices (ポッド ポリシー)] > [通信 (Communication)] > [デフォルト (Default)] を選択して、**TLSv1** を有効にします。
-

Cisco Application Policy Infrastructure Controller

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) は、シスコアプリケーションセントリック インフラストラクチャ (ACI) の自動化、管理、モニタリング、およびプログラム可能性の統合ポイントです。APICは、インフラストラクチャの物理コンポーネントと仮想コンポーネントに対して統一された運用モデルを提供し、あらゆるアプリケーションをどこからでも展開、管理、モニタリングできるようにします。また、さらに大規模なクラウドネットワークの中央制御エンジンとなります。APICは、ユーザ定義のアプリケーション要件とポリシーに基づき、ネットワークのプロビジョニングと制御をプログラムによって自動化します。

Cisco UCS Director オркестレーション機能を使用すると、APICの設定と管理タスクを操作ワークフローを通じて自動化できます。APICのオーケストレーションタスクの完全なリストは、ワークフロー デザイナとタスク ライブラリで入手できます。Cisco UCS Director でのオーケストレーションの詳細については、『[Cisco UCS Director Orchestration Guide](#)』を参照してください。